



作家
元国際線乗務員
黒木安馬

【プロフィール】高校時に米国留学後、早稲田大学を経てJAL国際線客室乗務員として30年勤務。世界初の「カラオケ・フライト」や「1万メートル上空・北島三郎機上コンサート」などを実現させる。千葉の自宅は1300坪の山林を開墾してプール、テニスコート、コンサートホール等を手作りする。現在、(株)日本成功学会社長として自己啓発や社員教育で講演中。著書に『ファーストクラスの心配り』、『あなたの人格以上は売れない!』(プレジデント社)、『成「幸」学』(講談社)、『出過ぎる杭は打ちにくい!』(サンマーク出版)、『面白くなくちゃ人生じゃない!』(ロングセラーズ)、『小説・球磨川』(上下巻・ワニブックス)、『雲の上で出会った超一流の仕事の言葉』(あさ出版)などがある。
E-mail:yasuma@myad.jp URL:http://www.7b.biglobe.ne.jp/~sanpercent-club/

21世紀だ！———人生・農業リセット再出発 255

みしょう
実生

日 本海に面した長州・萩藩城下の松本(松下)村に吉田松陰の松下村塾はあった。松の樹の下に塾があったからではなく、人財育成は都会でなくとも“村”の若者を磨くことでも可能と、世界情報を聴き将来を見通す「飛耳長目」で国家的危機を救おうと、君が知っていることも教えてくれ、と共に学ぶメダカの学校だった。魚屋の小僧も歓迎し、“かくすれば、かくなることと知りながら、やむにやまれぬ大和魂”と、29歳で刑死するまで、塾は1年9カ月の短期間に初代総理大臣伊藤博文、高杉晋作、久坂玄瑞、山縣有朋、日本大学創立の山田顕義、獨協大学の品川弥次郎などを輩出し、長州は伊藤から安倍晋三と8人も首相がいる。松陰の墓碑「二十一回猛士」は、吉田の吉は十一と口になり、田は口と十になり、十一と十を合わせて二十一、口と口を重ねて回に、松陰の旧姓は「杉寅次郎」で、杉は十・八・彡で二十一!

塾 は木造8畳間と10畳間の粗末な平屋で松に囲われているが、草むらに松の子供が3本顔を出していた。風に飛んだ実が芽生えて大木に育つ実生は0.01%以下! 松が枯れたら他所から持って来るのではなく、この貴重な本家筋の幼樹こそ温存すべきと同行の山口県庁幹部に力説した。本音は、夜陰に乗じて引っこ抜いて持ち帰り、ヤフオクやメルカリに出品すれば大金になるかもと。台風で我が家の30mの杉の大木が5本も折れて屋根に倒れた。植木職人が言うに、あの実生の杉は強いが、挿し木は弱いねえ……と、倒木しなかった杉を指さす。プロは枝ぶりで見分けがつくとか。杉の苗を挿し木で作れるとは初耳だったので、甥の農学博士の大学教授に聴くと、「杉苗木は実からだけ、挿し木で出来るわけない!」と、あっけない即答! 京都の林業者に聞くと、一般では杉

苗は実を蒔いて作るが、銘木・北山杉の苗作りはすべて挿し木の挿し穂で育て、磨き丸太の優良品種を次世代に引き継ぐには挿し木だけ。何百年も山主が自分で取捨選択して育てた貴重な財産を挿し木で同一品種にして残す。苗床で2年育てて山に植林するが、重要な作業は苗選びで、選び間違えると30年間懸命に手入れしても良い北山丸太にならない!“松下村”の、村土着の無名若者たち、その“実生”の人財が、斬首覚悟で密航して英国留学し、「生きる機械となって」帰国しての5人組【長州FIVE】は、明治維新と新政府を牽引する主人公になる。かたや先端知識人を師と仰いで集まって文明開化に大きく寄与した英傑たち……彼らは“挿し木”で育って活躍する。

ユ ダヤ人が重要視している財産は、金は奪われるが誰からも奪われない「教育」だと言う。教育で発芽した実生組も挿し木組も、“知識の差は小なり、行動の差は大なり!”で、行動に移したからこそ明治維新の胎動に結びついた。田舎に住んだままで「飛耳長目」が可能になったSNSテレワーク時代の今日、実生になって自分はどんな行動に移れるか、よ〜く考えてミショウ。私が主宰している「自分磨き全国塾・3%の会」の元NHK解説委員長・証券等取引監視委員は言う、“高齢になるほど、教養と教育が必須。今日、用がある! 今日、行くところがある!”だと。人は、より具体的目標が眼前にあると、神業に近い潜在能力を発揮するものなのだ。

さ て、あなたが熱望する目の前の夢は!? “明日死ぬかのように生きよ、永遠に生きるかのように学べ!” 松陰は言う、「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし、故に、夢なき者に成功なし」